

## 里山・里地 - 豊かな自然の保全と活用 侵略的外来種防除による保全と世界農業遺産「大崎耕土」の推進



宮城県大崎市里山のため池:ニホンタンポポが自生しシナイモツゴやゼニタナゴなど多くの在来種が生息しています。

**2019年10月26日(土) 会場: 東京環境工科専門学校 (最寄駅 JR錦糸町)**

**第1部 豊かな自然の復元と保全・活用 10:15 ~ 12:30**

**【復元と保全の戦略】**

モツゴ類のルーツと保全 川瀬成吾 (大阪経済法科大学)

オオクチバス防除によるゼニタナゴの復元 藤本泰文(宮城県伊豆沼内沼環境保全財団)

**【豊かな自然の活用】**

世界農業遺産がめざすもの あん・まくどなど(上智大学・依頼中)

世界農業遺産推進の現状と課題 武元将忠(大崎市産業経済部)

**【自由討論】**

座長: 佐藤弘樹(シナイモツゴ郷の会)

**第2部 ポスター発表 展示発表 12:30 ~ 14:00**

**【地域ぐるみの保全活動】**

シナイモツゴ郷の米でシナイモツゴを守る

吉田千代志(シナイモツゴ郷の米づくり手の会)

**【水辺環境の変化と生き物たちの盛衰】**

消えた天然池沼 - 品井沼の明治・大正期の漁業と現在の魚

三浦仁一(シナイモツゴ郷の会)

手賀沼におけるニホンウナギの盛衰 半沢裕子(手賀沼水生研)

**【豊かな自然を守る新技術と活動】**

自動給餌機を使用しないウチダザリガニ用連続捕獲装置の開発

高橋清孝他(シナイモツゴ郷の会)

アメリカザリガニ繁殖抑制技術の開発 長谷川政智他(シナイモツゴ郷の会)

アメリカザリガニの有効活用 坂本啓・内藤朝陽(シナイモツゴ郷の会)

ニッポンバラタナゴ生息池におけるアメリカザリガニ防除

川瀬成吾(大阪経済法科大学・ECO ~ ∞ KEIHO)

ため池池干しによるブラックバス駆除 三塚牧夫(ナマズのがっこう)

ため池事故防止 安全ネットの改良 根元信一(東北興商)

**【自由課題(一般募集中)】**

**第3部 水辺の侵略的外来種の防除と成果 14:00 ~ 16:30**

**【国家戦略】**

侵略的外来種防除の国家戦略 北橋義明(環境省)

**【侵略的外来種の防除と効果】**

ザリガニ類捕獲ツールの開発と防除戦略: 細谷和海(近畿大学・魚類学会会長)

ブラックバス防除の歴史 小林光(全国ブラックバス防除市民ネットワーク事務局長)

**【アメリカザリガニの防除と効果】**

アメリカザリガニ連続捕獲装置による捕獲と効果 高橋清孝他(シナイモツゴ郷の会)

洞爺湖におけるウチダザリガニの防除と効果 室田欣弘(UWクリーンレイク洞爺湖)

ここがポイント! 自然が再生する「かいぼり」のはなし 片岡友美(生態工房)

**第4部 総合討論 16:30 ~ 17:10**

座長: 半沢裕子(手賀沼水生研)・高橋清孝(シナイモツゴ郷の会)

主催: 水辺の自然再生共同シンポジウム実行委員会 (NPO法人シナイモツゴ郷の会、旧品井沼周辺ため池群自然再生協議会、全国ブラックバス防除市民ネットワーク、ナマズのがっこう)

後援: 大崎市、大崎市教育委員会、JA新みやぎ、TOYOTIREグループ環境保護基金

◀ 問い合わせ先: シナイモツゴ郷の会 MAIL:kiyotaka-toto\*ktf.biglobe.ne.jp TEL: 090-4043-3692 ▶